

## 地方別の特定鳥獣の生息分布変化について

1978 年に実施された第 2 回自然環境保全基礎調査哺乳類調査（以下第 2 回調査）から約 20 年を経て実施された第 6 回自然環境保全基礎調査哺乳類調査（以下第 6 回調査）の結果を受けて、特定鳥獣の分布メッシュ数の変化をまとめた。扱ったメッシュは全て 5km メッシュである。

### 1. 地方別の特定鳥獣の生息分布変化

1978 年時点の分布メッシュ数を 100 とし、2003 年時点の分布メッシュ数の増加・減少傾向を地方別で整理すると下記表 1. のとおりである。

表 1. 分布メッシュ数の増減の割合（第 6 回/第 2 回）

| 地方別 | シカ   | クマ   | イノシシ | サル   | カモシカ |
|-----|------|------|------|------|------|
| 北海道 | 175% | 113% | —    | —    | —    |
| 東北  | 382% | 119% | 126% | 229% | 137% |
| 関東  | 166% | 112% | 194% | 194% | 178% |
| 中部  | 200% | 116% | 133% | 152% | 212% |
| 近畿  | 139% | 136% | 102% | 138% | 164% |
| 中国  | 166% | 120% | 109% | 102% | —    |
| 四国  | 237% | 114% | 171% | 145% | 426% |
| 九州  | 154% | —    | 138% | 156% | 270% |
| 全国  | 174% | 117% | 129% | 152% | 170% |

シカ：東北・中部・四国地方で顕著に増加

クマ：近畿・中国地方で比較的多く増加

イノシシ：関東・四国地方で顕著に増加

サル：東北・東北地方で顕著に増加

カモシカ：中部・四国・九州地方で顕著に増加

## 2. 植生の変化

分布が確認されたメッシュについて、1978 年の分布情報については第 2・3 回基礎調査の植生自然度データ、2003 年の分布情報については第 5 回基礎調査の植生自然度データとの重なりについてまとめた。

図 1 に各自然度のメッシュ数割合、表 2 に数値一覧を示した。

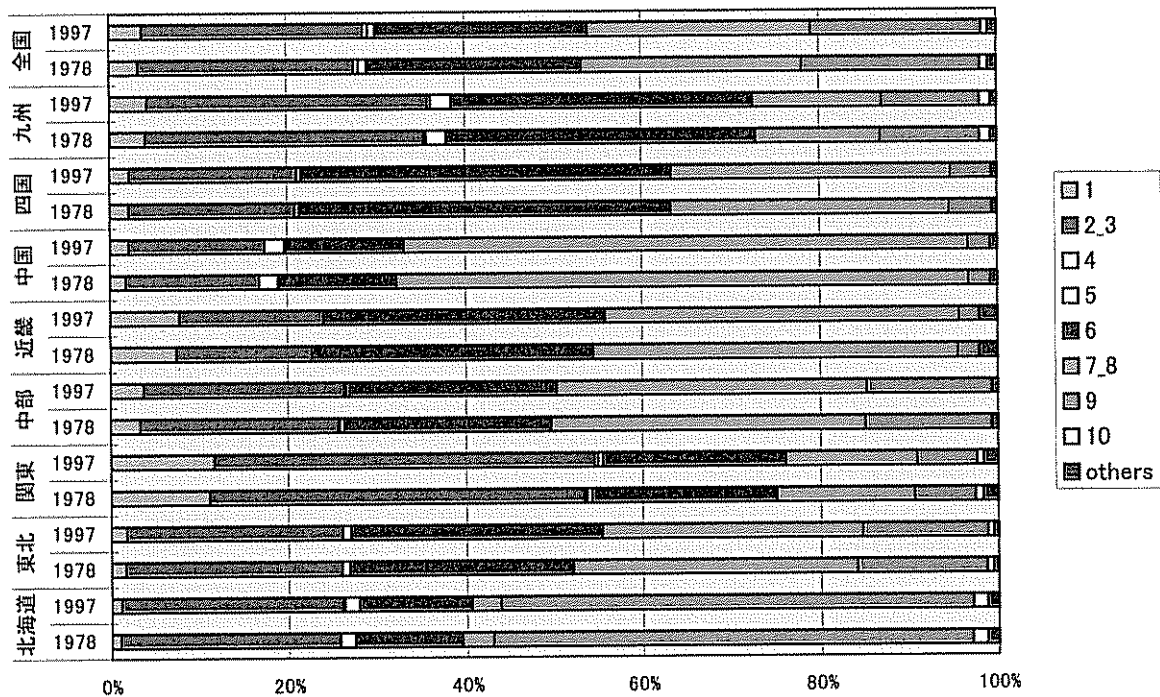


図 1. 全国の自然度の変化（第 2・3 回・第 5 回）

(参考) 植生自然度区分基準

| 植生自然度 | 区分基準                                  |
|-------|---------------------------------------|
| 10    | 自然草原（高山植物群落、自然草原など）                   |
| 9     | 自然林（針葉樹、広葉樹の自然林）                      |
| 8     | 二次林の自然林に近いもの（広葉樹の再生林などで特に自然植生に近い林）    |
| 7     | 二次林（ブナ林など一般に二次林と呼ばれる林）                |
| 6     | 植林地（常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地）           |
| 5     | 背の高い二次草原（ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原）         |
| 4     | 背の低い二次草原（シバ群落等の背丈の低い草原）               |
| 3     | 樹園地（果樹園、桑園、茶畑、苗圃等）                    |
| 2     | 農耕地・緑の多い住宅地（畑地、水田等の耕作地や、住宅地で林が散在する地区） |
| 1     | 市街地、造成地（植生のほとんど存在しない地区）               |

表 2. 全国の自然度の変化 (第 2・3 回・第 5 回)

|     |      | 自然度  |      |     |     |      |      |      |     |        |
|-----|------|------|------|-----|-----|------|------|------|-----|--------|
|     |      | 1    | 2_3  | 4   | 5   | 6    | 7_8  | 9    | 10  | others |
| 北海道 | 1978 | 1.0  | 24.7 | 0.1 | 1.7 | 12.1 | 3.5  | 54.1 | 1.7 | 1.3    |
|     | 1997 | 1.1  | 24.9 | 0.2 | 1.6 | 12.7 | 3.3  | 53.3 | 1.6 | 1.3    |
| 東北  | 1978 | 1.7  | 24.3 | 0.9 | 0.1 | 25.1 | 32.1 | 14.6 | 0.7 | 0.6    |
|     | 1997 | 1.8  | 24.2 | 0.9 | 0.1 | 28.4 | 29.3 | 14.0 | 0.7 | 0.6    |
| 関東  | 1978 | 11.1 | 42.3 | 0.3 | 0.5 | 20.9 | 15.4 | 6.9  | 0.8 | 1.8    |
|     | 1997 | 11.7 | 42.9 | 0.4 | 0.6 | 20.7 | 14.7 | 6.7  | 0.7 | 1.7    |
| 中部  | 1978 | 3.4  | 22.2 | 0.3 | 0.4 | 23.4 | 35.4 | 14.2 | 0.1 | 0.6    |
|     | 1997 | 3.8  | 22.5 | 0.3 | 0.4 | 23.3 | 35.0 | 14.0 | 0.1 | 0.6    |
| 近畿  | 1978 | 7.4  | 15.2 | 0.0 | 0.0 | 31.8 | 41.0 | 2.4  | 0.1 | 2.0    |
|     | 1997 | 7.8  | 16.2 | 0.0 | 0.0 | 31.9 | 39.8 | 2.2  | 0.1 | 2.0    |
| 中国  | 1978 | 1.8  | 15.0 | 2.2 | 0.1 | 13.2 | 64.5 | 2.5  | 0.0 | 0.8    |
|     | 1997 | 2.2  | 15.3 | 2.2 | 0.1 | 13.4 | 63.5 | 2.6  | 0.0 | 0.8    |
| 四国  | 1978 | 2.1  | 18.7 | 0.1 | 0.4 | 42.0 | 31.2 | 4.7  | 0.1 | 0.6    |
|     | 1997 | 2.2  | 18.8 | 0.1 | 0.4 | 41.8 | 31.3 | 4.6  | 0.1 | 0.6    |
| 九州  | 1978 | 4.0  | 31.4 | 0.3 | 2.3 | 35.0 | 14.0 | 11.1 | 1.3 | 0.7    |
|     | 1997 | 4.2  | 31.6 | 0.4 | 2.3 | 34.2 | 14.3 | 11.0 | 1.2 | 0.7    |
| 全国  | 1978 | 3.3  | 24.3 | 0.5 | 0.9 | 24.3 | 24.9 | 20.0 | 0.8 | 1.0    |
|     | 1997 | 3.7  | 24.9 | 0.5 | 0.8 | 24.0 | 25.2 | 19.1 | 0.7 | 1.0    |

数値はメッシュ合計に占める各植生自然度のメッシュ数割合 (%) を示す。

全国の自然度の変化は、全国、各地方ごとの割合をみても、20 年を経て大きな変化は見られない。

### 3. 動物分布の変化

第 2 回調査または第 6 回調査のみで確認された分布メッシュにおける各自然度の割合、および両年で確認された分布メッシュにおける各自然度の割合を種別・地方別に図にまとめた。使用した植生自然度データは、2. 植生の変化と同様、第 2・3 回基礎調査、及び第 5 回基礎調査で得られた植生自然度データである。

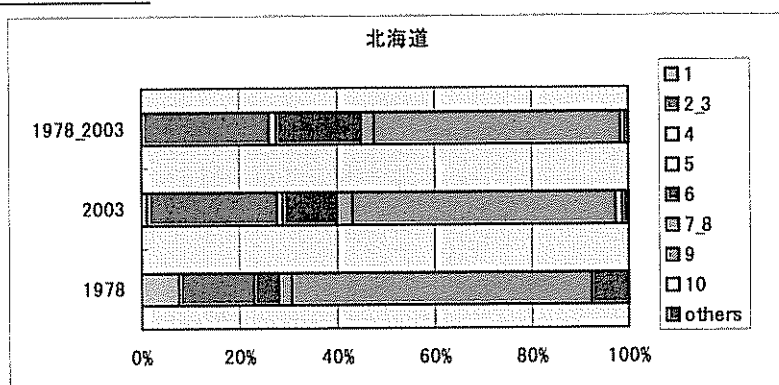
グラフにおいて、一番上より 1978\_2003 で示されている棒グラフが第 2 回調査および第 6 回調査で確認された分布メッシュにおける自然度の割合である。次に 2003 で示されている棒グラフは、第 6 回調査でのみ分布が確認された分布メッシュにおける自然度の割合、すなわち新たに分布が拡大したメッシュにおける自然度の割合を示す。最後に 1978 で示されている棒グラフは第 2 回調査でのみ確認された分布メッシュにおける自然度の割合、すなわ

ち分布が減少したメッシュにおける自然度の割合を示す。

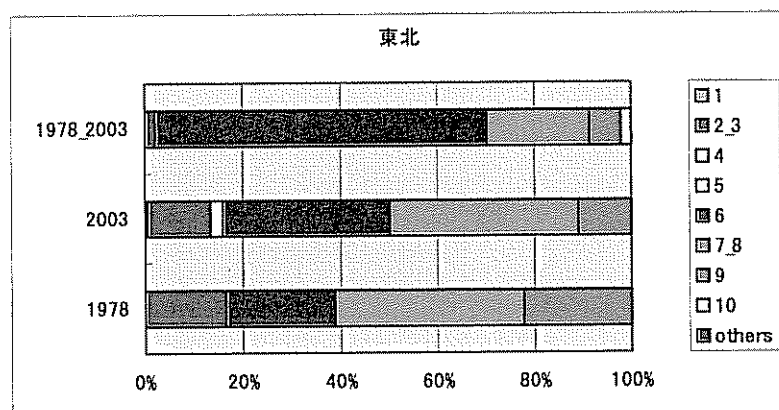
両年で確認されている分布メッシュにおける自然度の割合は、その地方において対象鳥獣が分布する植生の偏りとして捉えることができる。これと比較して20年間でどの植生の利用が減少し、また増加したのか整理した。

注) 生息分布調査は、5km メッシュを単位に目撃情報等の有無により集計しており、生息数は調査対象としていない。したがって、分布が拡大したとしても生息数が増加しているとは一概には言えない。

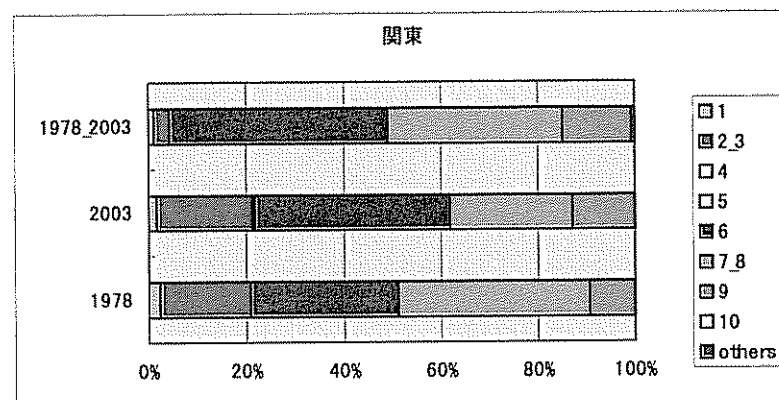
### 3-1. シカ



○増加傾向が見られた自然度：2\_3  
○減少傾向が見られた自然度：6



○増加傾向が見られた自然度：6  
○減少傾向が見られた自然度：9



○増加傾向が見られた自然度：6  
○減少傾向が見られた自然度：7\_8